新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西３丁目
電話（243）0141
'22 年 5 月 16 日

新潟民商常任理事会 新潟県知事選 候補予定の片桐なおみさんが来所
「県民の声を聞き、県民のための政治を目指す」

子どもや次世代の県民のため 原発の再稼働は絶対にさせない

新潟民商常任理事会が4月27日、民商会館で開催されました。

新潟県知事選予定候補の片桐なおみさんを招いての開催でした。新潟民商は原発再稼働反対・県立病院の統廃合や民営化中止など弱者に寄り添う政治を公約に掲げる片桐さんを推薦することを決定しました。

片桐さんは「何としても原発の再稼働を止めたい。ウクライナ戦争のように、いつ戦争が起き攻撃されるか分からない。日本でも稼働中の原発が攻撃されるような事が起きれば、被害は計り知れない。これまでは自身の会社に尽くしてきたが、これからは県民の声を聞き、県民のために力を尽くしたい」と原発再稼働の危険性を訴えました。

「事業者へ向けた政策は？」という質問に片桐さんは「消費税は無くすべき。計算も複雑で中間払いもある。大企業はいいが中小企業にとって消費税の納付を工面する事は本当に大変。また、ウッドショックによる木材の価格が高騰し、今でも高値で止まっているが実際に木はある。これは便乗値上げで鉄鋼関連も同じで一部の大企業によるもの」と経理に携わっていた経験を話しながら、消費税が中小業者を苦しめていることへの理解を示しました。

日程

- ・統一行動週間　5月16日～22日
- ・全商連定期総会　5月22日（日）
- ・三役会議　5月24日（火）

「相談会で助かった。声掛けしてみる」
―沼垂・駅前地域で宣伝・対話訪問―

連休明けの6日、中央ブロックが支援制度を知らせようと万代支部を中心に宣伝・対話行動を行いました。

駅前地域では相談会に参加したことのある会外の理容業者と対話に。１０日に民商で行う感染症対策相談会の話をすると「前回の給付金の時も民商の相談会案内チラシを見て相談会に参加した。おかげで無事に給付を受けることが出来てとても助かった！周りの仲間にも声を掛けてみます！」との声が返ってきました。

また仕込中だった飲食店の会員からは「長引く新型ウイルス感染症の影響により周りで廃業や長期休業する店が徐々に増えて来ている。新規開店するお店もあるけれど、それ以上に辞めていくお店の方が多い。地域の元気が失われて行くから自分の商売にも影響が出て、とても厳しい！給付金を自分で申請するのは難しいので１０日の相談会に参加します」などの声も聞かれました。

支援金が必要なのに諦めている、また制度を知らない業者がまだまだいます。声掛けを強めましょう！

「事業復活支援金」「緊急小口・総合支援資金」
申請サポート相談会

支部	日時	会場
北区	5月17日（火）PM6：00	北地区コミセン

相談会の注意事項

※新型ウイルス感染症対策を万全にするために当日、体調の悪い方の参加は遠慮ください。

☆事前確認の締切は

5月26日（木）です。

訪問行動

「力を合わせて地域活性化を」訪問で対話弾む－北東ブロック－

北東ブロックでは26日、中村勉松浜支部長を先頭に5名で新発田街道（旧7号線）沿いの商店街を訪問。20軒の商店と対話しました。

組を2組作り中木戸方面と大形方面に分かれ、相談会の案内チラシと宣伝紙を手渡しました。対話では「商店会で全て申請している」（焼肉屋）、「自分の店は該当しないかな。地域密着型で何とか頑張っています」（居酒屋）などの声が出されます。中にはチラシを手渡した後、チラシをじっくり読んでいる商店主もいました。

また大形本町方面では元会員の衣料店主と対話に。店主は「新潟市は商店街に補助金を出すとは言うが、商店街自体が高齢化でその補助金を活用できる術がない。中小企業振興条例も名前だけになっている」と現状に怒りの声。続けて「民商も含めて様々な団体が力を合わせて地域を守るために考えなければダメだ」と話し、参加者とも意気投合。また訪問する約束をして対話は終了しました。

訪問してみると業者は民商の訪問を待っていることが実感されます。全地域で訪問に取り組みましょう。

復活支援

「1ヶ月の放置を乗り越えて給付」運営に怒り爆発－Aさん・飲食－

大形支部のAさんは、30年来古町でスナックを営んでいます。新型ウイルス感染症のあおりを受けて開業して以来の売上減に苦しめられています。

周りの声掛けで制度を知り、復活支援金の申請に挑むこととなりました。3月17日の会館での相談会に参加したAさん。事前に書類も揃えておいたためスムーズに申請完了。振り込まれるのを期待して待っていました。

しかし待てど暮らせど振込みされず、待つこと1ヶ月。4月15日に「不備」メールが届き、しかも不備の内容は「画像が不鮮明」。Aさんは憤慨しました。

4月18日の相談会で修正し、4月28日に無事振込みは完了。しかしAさんは「画像が鮮明か不鮮明かを判断するのに1ヶ月もかかるのか？国は業者の辛さがわかっていない」と怒り心頭です。

PC学習

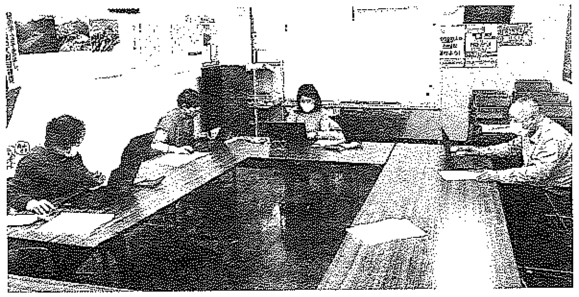
「できる人になったみたい」と歓喜－大形支部・PCセミナー開催－

大形支部では確定申告期間に中断していたパソコン（エクセル・表計算）セミナーを会員の要望に応えて再開。4月19日のセミナーには5名が参加しました。

今回のセミナーでは請求書の作成にチャレンジ。見本を見ながら列や行の大きさを変えたり、計算式を入れたりの作業に取り組みました。

ここで活躍したのが普段からエクセルを活用している梶原さん（溶接業）と渡辺さん（建設業）。「セルを結合させ方がいい」「計算式はこのやり方にしたらどう？」など意見を言いながら、周りの参加者にアドバイスをしていました。

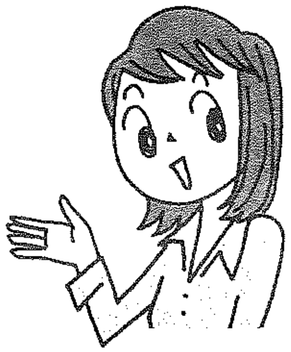
何とか全員が請求書を完成。武部さん（電気工事）は「何か仕事ができる人になったみたい」と話し、みんなの笑いを誘っていました。次回のパソコンセミナーでは参加者の要望に応えて「会社カレンダー」や「顧客名簿」の作成にチャレンジする予定です。



民商共済

新型ウイルス感染症の共済金の申請について

新型ウイルス感染症に関しての入院見舞金及び安静加療見舞金の申請についてお知らせします。



☆民商共済加入者が陽性だった場合

全員入院見舞金の対象になります。病院に入院した場合は領収書または入院証明書。ホテルや自宅に待機した場合は共済会役員の確認書に記入していただきます。

☆民商共済会加入者が陰性で濃厚接触者として自宅待機になった場合

安静加療見舞金の対象になります。通常通り申請書の役員証明欄に役員の証明だけ必要となります。

詳しくは各支部の共済係または民商事務所までお問い合わせをお願いします。